

あなたの疑問にお答えします。市政と市民のほほ笑みキャッチボール。

カルチャーセンターの利用状況と料金設定について

Q カルチャーセンターの利用状況と料金体系について質問します。

一昨年完成したカルチャーセンターをいつも利用させていたでいます。同種の施設を持つ市町村の中には、市民の利用が少なく、運営に難儀しているところもあると聞いております。つきましては、その利用状況をお聞かせください。

それに関連しますが、この施設は近隣の自治体にも、一部資金負担を求めて完成されたというところであります。ところが白根市民とそれ以外の住民では、利用料金に大きな差があります。その理由をお聞かせください。

また、公共の催しには割引料金の設定がありますが、施設利用に関する、公共的なものとするでないものとの明確な基準があるのでしょうか。併せてお尋ねします。せつかくの立派な施設です。近隣の皆様にも広く利用してもらえようようにしてい

自治体からの負担は、いたいたはおりません。

3 利用料金について

カルチャーセンターは、多くの市民が生涯を通して文化、体育、スポーツ、レクリエーション活動に積極的に取り組めるように建設したものです。建設時の借入れ金の返済や施設の維持管理の経費には、市民の税金が充てられています。このため税を負担していない市外の利用者には市民の二倍の利用料金を負担してもらっています。

また、利用料金の減免は①市が主催して行う事業②市と共催して行う事業——などの利用目的によって、利用料金の全部または一部を減免することがあります。なお、営利目的で利用する場合は市内は三倍、市外は六倍の料金が設定されています。

このコーナーは皆さんから寄せられた市に対する質問や要望を掲載し、お答えするものです。住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、企画調整課広報係(〒950-12 白根市大字白根1235)までお寄せください。匿名は原則としてご遠慮を。なお、お寄せいただいた質問の中には、回答に時間のかかるものもあります。極力紙上で回答したいと考えています。ご了承ください。

1 利用状況について
カルチャーセンターは平成二年六月にオープン以来、大変多くのご利用をいただいています。平成三年度の利用者数は十二万二千七百九十人でした。今年度に入っても利用者数は順調な伸びを示し、八月現在で四万八千七百九十三人と、前年同期に比べて六千七百八十三人増加しています。

広がり健康家族 18

保健センター (0373-43000)

「生涯現役」

脳卒中の予防

全国的な傾向と同様、本市でも死因のトップはがん、第二位が脳卒中です。

医療技術の進歩などにより、脳卒中の死亡率は低下してはいますが、高齢者の脳卒中患者の数は必ずしも減っていません。また、高血圧症、動脈硬化症の人が増えているため「脳卒中予備軍」の増加が心配されています。脳卒中は手足のまひや言語障



害などの後遺症が残ることが多い病気です。そのため、痴ほう、寝たきりになってしまいうケースも多く、家族への負担を大きくする病気ともいえます。

死亡率が低下したとはいえ、脳卒中は依然として、がん、心臓病と同様に怖い病気の一つです。一人ひとりが定期的に検診を受けて、日常生活をチェックし、規則正しい生活を送るようにならねばなりません。(脳卒中を予防する日常生活10

- カ条)
- ①定期的な血圧測定をしましょう(最低一カ月に一回)
 - ②定期的に血液検査や眼底検査を受け、動脈硬化を調べましょう(年一〜二回)
 - ③寒さにさらされないようにしましょう
 - ④ふろはぬるめの湯に入りましょう(四十度〜四十一度)
 - ⑤便通を整え、トイレは洋式にしましょう
 - ⑥減塩食を維持し、動物性脂肪は控えめにしましょう
 - ⑦太り過ぎを避けましょう
 - ⑧ストレスはためないように
 - ⑨タバコはやめましょう
 - ⑩酒は一日一合まで(ビールなら大瓶一本、ウイスキーならダブル一杯)

広報クイズ 44

今月の問題

●中村与吉さんはボランティアの要件を3つ挙げられましたが、代償を求めない無償性、社会に役立つ奉仕と、もう1つは?

- A 自主性 B 独自性 C 創造性
(ヒント=8ページ)

●産業まつりのキャラクター名が決まりました。その名前は?

- A 翔市くん B 昌一くん C 正市くん
(ヒント=13ページ)

●有志指導者の星野博樹さんが毎週土曜日開いている自主講座は?

- A 編み物 B サッカー C 太極拳
(ヒント=15ページ)

応募の方法

はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。

□あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係 □締め切り 11月19日(木)必着 □抽選 11月20日(金)に市役所に来た人から抽選していただきます。 □発表 12月1日号

当選おめでとう

(500円の図書券)

- ▶原 洋子さん(七軒町)
- ▶猪腰 彦五さん(朝捲)
- ▶丸山 秀子さん(下木山)
- ▶斎藤 文江さん(高井東)
- ▶篠原 成美さん(大通南)

[県立自然科学館招待券]

- ▶高井 宏晃さん(庄瀬)
- ▶松沢美智子さん(戸頭)
- ▶円山 郁美さん(旭町)

抽選は10月20日に、市役所で穴沢正美さん(小須戸町)にお願ひしました。先月号の正解は●B●C ●A。応募総数は35通。すべて全問正解でした。

市立図書館

今月の受け入れ図書

▶開館時間 ※祝日は休館
月・水・木・土・日曜日 午前9時~午後5時
火・金曜日 午前9時~午後8時
▶貸し出し 1人1回4冊以内で、2週間借りられます。

今月の一冊



声の後ろから 大城立裕

て(宮部みゆき)▽海の手口メ(山崎洋子)▽華やかな誤算(山村美紗)▽郁る樹の詩・母と娘の往復書簡(大庭みな子)▽魚の小骨(阿刀田高)ほか多数

沖縄の混血娘の松代。見たところは金髪・色白・灰色の目、背も鼻も高くほぼ完璧なアメリカ人である。その彼女に先祖代々の霊の力が宿った「迷路」。ほか三編を収録した短編集。著者は沖縄県出身では初の芥川賞作家。沖縄固有の不思議な霊の世界を描く。

一歩踏み出して 新しい世界が

女性のための集い「ナイスミデイセミナー」。遠藤雪恵さん(中大郷)、高橋綾子さん(中笠巻)、今井美樹子さん(四ツ興野)、泉田紀代恵さん(同)、小熊智子さん(大通2丁目)の五人が企画運営委員のメンバーです。同セミナーは中央公民館の主催事業ですが、企画運営はすべて委員の手で。公民館事業としては初めての試みです。

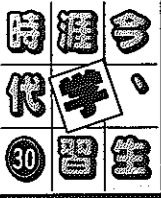
「自由に企画してと言われたけれど、やりたいことって特になかったんですよ」と笑うのは高橋さん。「六月のウーマン・リンクで司会をした村田洋子さんやシユウさんの話が聞きたいという声があったので、それをこの場で話し合いました。それに国際交流の話とかも」と遠藤さん。

話し合いを進める中で出てきたのが「現代は家族の心のつながりが欠けているのでは」という疑問です。家族の人間関係の中で大きい比重を占めるのが女性の立場。嫁、妻、母、女という女性の役割を突き詰めたとき

「自由な企画してと言われたけれど、やりたいことって特になかったんですよ」と笑うのは高橋さん。「六月のウーマン・リンクで司会をした村田洋子さんやシユウさんの話が聞きたいという声があったので、それをこの場で話し合いました。それに国際交流の話とかも」と遠藤さん。



▲左から今井さん、高橋さん、遠藤さん



企画運営委員会